

浅川扇状地遺跡群 現地説明会のお知らせ

このたび、長野市浅川扇状地遺跡群の現地説明会を下記のとおり開催いたします。

浅川扇状地遺跡群は、飯縄山を水源とする浅川によって形成された扇状地上に立地する集落遺跡で、今までに弥生時代後期から平安時代の集落跡や、弥生時代後期末から古墳時代前期の墳墓跡などがみつかっています。また、今回の調査では古墳時代から平安時代の竪穴建物跡や中世居館の堀跡などがみつかっています。

なお、遺跡から出土した遺物と写真も展示しますので、あわせてご覧ください。

記

- 1 日 時 令和元年7月7日（日） 午前10時30分から午後3時まで
※午前10時30分と午後1時30分に1時間程度、調査概要を説明します。
※小雨決行、ただし、現場が保全できない場合は、発掘現場公開は中止し、遺物・写真パネル説明のみを実施します。
- 2 場 所 浅川扇状地遺跡群発掘調査現場・集合は現場事務所前（裏面参照）
※当日は裏面駐車場を御利用ください。
※自転車や徒歩で来られる方は、遺跡説明時刻までに直接現場事務所までお越しください。
- 3 その他 ア 運動靴（長靴）など歩きやすい履物でお越しください。
イ 帽子や日傘など、必要に応じて御用意ください。
- 4 問い合わせ先 長野県埋蔵文化財センター 026-293-5926（担当：川崎）
調査担当 西香子（携帯） 080-2337-3138



中世居館の堀跡調査風景



平安時代の竪穴建物跡からみつかった墨書土器